

事務事業名 「国民宿舎清嵐荘」改築整備事業		所属部 産業振興部	所属課 商工観光課
総合計画体系	政策名 (V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G 商工観光グループ	課長名 落合正成
	施策名 (38)観光の振興	担当者名 奥井雅司	電話番号 0854-40-1054 (内線) 3714
	目的:対象 市外の人・市民 意図 市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 4 5 0 5 0 2 業名 清嵐荘整備事業 項目 中事業 中事業 0 5 0 5 0 1 業名 清嵐荘整備事業	
	基本事業名 (117)受け入れ施設の充実 目的:対象 観光客 意図 受け入れ施設を整える。		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 26 年度 ~ 30 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述) 【H26年度】 ①改築整備基本計画策定 【H27年度】 ①測量業務(地形・用地・地質) ②改築整備基本設計 ③管理運営実施計画策定 【H28年度】 ①改築整備実施設計 ②管理運営実施計画策定 【H29年度】 ①取壊し、造成 ②建設・改修工事 ③指定管理者募集・決定 【H30年度】 ①建設・改修工事 ②開設準備、運営開始

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動 26年度実績(26年度に行った主な活動) ①改築整備基本計画策定 27年度計画(27年度に計画する主な活動) ①測量業務(地形・用地・地質) ②改修整備基本設計 ③管理運営実施計画策定  ※②・③については、公募型プロポーザル方式による受託候補者選定を行うため、それぞれ3回程度の選定委員会開催と審査会1回を予定している。				
	② 活動指標				
	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
ア 内部協議	回			4	5
イ 設計協議	回			3	5
ウ 業務受託者協議	回			5	10
エ 施工者協議	回			—	—

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか) 国民宿舎清嵐荘の再整備	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	② 意図(対象がどのような状態になるのか) 利用者の満足度を高めながら、安定経営を目指す滞り型観光振興の中核施設として整備を行い、県外誘客や市内観光消費の拡大を図る。	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
		ア 滞在型観光振興中核施設	箇所			1	1
		イ					
		ウ					
		ア 事業進捗率	%			0.3	3.3
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算) ・基本計画策定業務委託費 3,100千円 ・事務費 4千円	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
事業費	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円			3,104	30,351
	事業費計 (A)	千円			3,104	30,351
人件費	正規職員従事人数	人			2	
	延べ業務時間	時間			100	
	人件費計 (B)	千円			389	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			3,493	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?) ・「国民宿舎清嵐荘」(昭和37年整備)は施設の老朽化が著しく、施設構造その他利用者ニーズに対応できていない状況。 ・尾道松江線の開通により市内観光入込客の増加傾向が見られる中、県内他市町に比べ、宿泊率は1.6%と低迷している。(H25年県観光動態調査結果により算出)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) H26.10.22に市内飲食事業者・宿泊事業者を対象に本事業の説明会を開催し、概ね理解をいただいた。 なお、基本設計・管理運営計画の受託者選定にあたっては、選定委員会を設置し、市民代表委員の就任を求める予定である。	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?) これまでも利用者や指定管理者からは施設の老朽化改善が求められてきた。 議会からは、より実態に合った全体事業費の精査と説明が求められている。
---	--	--

事務事業名	「国民宿舎清嵐荘」改築整備事業	所属部	産業振興部	所属課	商工観光課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	設計・管理運営計画ともに具体的なものはこれからであり、向上の余地がある。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	類似事業はない。民間参入も困難である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費の縮減及び財政負担の軽減を意識して進める必要があるが、近年の労務費・資材費については依然上昇傾向にあり事業費増大の懸念もある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	過大な人員配置とはなっていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	新清嵐荘については、利用者の満足度を高めながら、公共施設としての役割を果たす。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 事業目的を理解し、専門家や関係者等の意見を踏まえた事業推進を行った。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度の営業開始を目標に、事業スケジュールに沿った整備を進める。</li> <li>事業費の抑制と休業期間の短縮が課題であるが、今後の設計業務等で精査・調整を図る。</li> </ul>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		